授業科目	在宅看護援助論	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験
		２年次 後期	1	30		内海　綾音 花本冨貴子	有

授業概要	在宅看護を効果的に進めるためには、まず患者や家族の生活状況を把握し在宅療養生活上の問題を的確に判断することが求められる。本科目では在宅看護における看護過程の特徴や基本を実践例を通して学ぶ。 また在宅看護を効果的に進めるための基本として、看護師は療養者本人や家族との良好な信頼関係を築く必要がある。この信頼関係の構築方法や面接技術などに関する知識と方法について理解を深める。

回数	授業計画・授業内容	授業方法
1	在宅看護の展開	講義
2	在宅看護過程のポイント	
3	在宅看護過程の展開方法	
4	事例による看護過程の展開	
5	事例による看護過程の展開：基礎情報	
6	事例による看護過程の展開：アセスメント	
7	事例による看護過程の展開：介入方法	
8	事例－パーキンソン病の高齢者と妻	演習
9	ねらい：地域で療養する難病患者と介護者の病態と生活状況を	演習
10	アセスメントし、看護が介入する問題を明確にし、問題解決の ための具体的な援助を立案できる。	演習
11	評価項目：①病態の理解と生活への影響の観察	演習
12	②家族の健康状態と対処能力の観察 ③介入計画が具体的 ④保健医療福祉サービスの理解	演習
13	事例報告会	
14	事例まとめ	
15	試験	

テキスト	統合分野　在宅看護論／医学書院
評価方法	演習出席状況と作成レポート・グループ発表内容・討議の発言　２割 筆記試験で８割
先修条件	在宅看護概論を履修していること